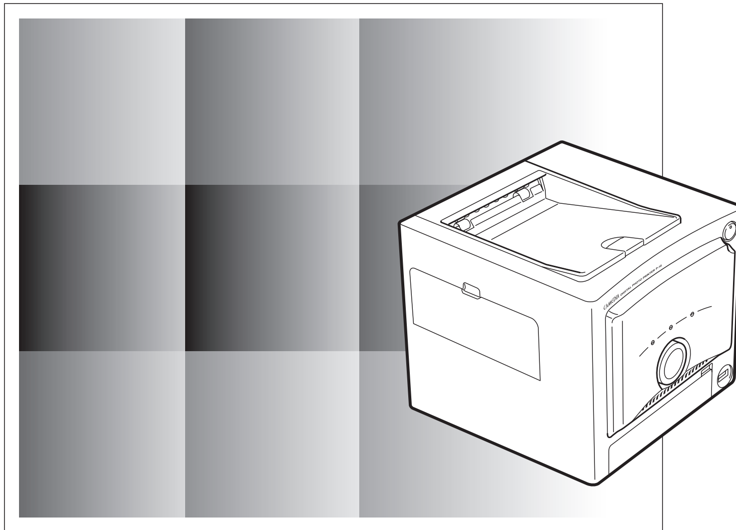
OLYMPUS®

CAMEDIA

DIGITAL PHOTO PRINTER

P-10

取扱説明書



このたびはオリンパスデジタルフォトプリンタ P-10 をお買い上げいただき、ありがとうございました。

- 本製品は、ご使用の前に、この取扱説明書と保証書をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みいただいたあとは、大切に保管し、必要なときにお読みください。
- 保証書は必ず「お買い上げ日／販売店名」などの記入を確認し、販売店からお受け取りください。

複製の禁止事項

本製品を使用して模造または複製する場合には、次の点に十分注意してください。

- 紙幣、貨幣、有価証券などの複製は禁止されており、処罰の対象となります。
- 各種の証明書、免許証、旅券、民間発行の有価証券、未使用の郵便切手などの複製は禁止されており、処罰の対象となります。
- 他人の著作権の目的となっている絵画、写真、書籍などは個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本製品の不適当な使用により、万一の損害や、逸失利益、または第三者からのいかなる請求に関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品の故障、当社指定外の第三者による修理、その他の理由により生じた画像データの消失による、損害および逸失利益などに関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- オリンパス純正品および、オリンパス品質認定品以外のオプション、または消耗品（インクリボンカートリッジ、用紙）を装着してトラブルが発生した場合には責任を負いかねますのでご了承ください。
- この取扱説明書のイラストは実際の画面表示、プリントとは異なる場合があります。

商標について

- Windows は、米国 Microsoft Corporation の登録商標です。

目次

はじめに

準備

プリントする

その他

安全上のご注意

製品を正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害と財産の損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

図記号	図記号の意味
 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分けし、説明しています。

図記号	図記号の意味
	してはいけない禁止事項です。
	必ず実行していただく強制事項です。
	電源プラグを必ずコンセントから抜いてください。
	分解しないでください。
	水等で濡らさないでください。
	濡れた手で触らないでください。



警告

■ 万一、異常が発生したときは、電源プラグを抜いてください

煙が出る、変な臭いや音がする、異常に熱くなるなどの状態のまま使わないでください。
そのまま使うと、火災や感電の原因となります。
すぐに本製品の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、販売店または当社サービスステーションにご相談ください。



■ 内部に水や異物が入ったときは、電源プラグを抜いてください

本製品の通風口やすき間から、水や金属類、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
異物が入ったまま使うと、火災や感電の原因となります。
万一、異物が入った場合は、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、販売店または当社サービスステーションにご相談ください。



■ ケースがこわれたときは、電源プラグを抜いてください

本製品の外装（ケース）がこわれたときは、そのまま使わないでください。
そのまま使うと、火災や感電の原因となります。
すぐに本製品の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、販売店または当社サービスステーションにご相談ください。



■ 電源コードが傷んだときは、電源プラグを抜いてください

電源コードの芯線が露出するなど、電源コードが傷んでいるときは、そのまま使わないでください。
そのまま使うと、火災や感電の原因となります。
すぐに本製品の電源スイッチを切り、芯線にふれないように注意して電源プラグを抜き、販売店または当社サービスステーションにご相談ください。



警告

■ **電源コードを傷つけないでください**
電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。
また、重い物をのせたり、引っぱったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災や感電の原因となります。
電源コードが傷ついた場合は、販売店または当社サービスステーションにご相談ください。



■ **絶対に分解や改造をしないでください**
製品内部には、電圧の高い部分や温度の高い部分などがあり、さわると感電や、やけど、または故障の原因となります。絶対に分解や改造をしないでください。
内部の点検や修理は、販売店または当社サービスステーションにご相談ください。



■ **本製品の上に花びんや水の入った容器を置かないでください**
本製品の内部に水や薬品などが入ると、火災や感電の原因となります。



■ **重いものをのせたり、乗ったりしないでください**
倒れたり、落下したりして、けがの原因となります。
また重みで本製品が変形し、そのまま使うと、火災や感電の原因となります。



■ **本製品を次のような場所に置かないでください**
故障や火災・感電につながる場合がありますので、本製品を次のような場所には置かないでください。

- ほこり、湿気、油煙などが多い場所
  内部にほこりや水分が入ると、火災や感電の原因となります。
- 高温になるところ
  直射日光が当たる場所やストーブなど熱器具の近くなど、温度が高くなる場所に置くと、本製品の変形や、火災、感電の原因となります。
  周囲温度は 5 ～ 35 ℃、湿度は 20 ～ 80% でお使いください。



■ **本製品を次のような場所で使用しないでください**

- 不安定な場所や傾斜した場所
- 屋外（特に砂浜等）、ほこりやちりの多い場所
- 雨や水滴のかかる場所での印刷、ビニール袋の中等の包んだ状態での印刷



はじめに
準備
プリントする
その他

■ **ACアダプタおよび電源コードは付属の物以外は使用しないでください**



■ **付属のACアダプタおよび電源コードは他の機器には利用しないでください**



■ **指定（交流100ボルト）以外の電源電圧で使わないでください**
過電圧により、部品が破損します。
そのまま使うと、火災や感電の原因となります。



■ **海外では使用しないでください**
本製品は、日本国内でのみ使用でき、海外では電源電圧が異なるため使用できません。
(This unit is designed for use in Japan only, and cannot be used in foreign countries.)



■ **電源プラグが不完全な接続状態では使わないでください**
電源プラグが抜けかかった状態など、不完全な接続状態のままで使わないでください。火災の原因となります。
電源プラグは、奥までしっかりと差し込んでください。



■ **電源プラグにほこりや異物を付着させないでください**
ほこりや異物を伝わって、電気が流れ危険です。そのまま使うと、火災や感電の原因となります。
付着している場合は、電源プラグをコンセントから抜き、ほこりや異物を取り除いてください。



■ **雷の時は早めに電源プラグを抜いて、使用を控えてください**
雷が落ちると、誘導電雷により、火災、感電、故障の原因となります。



■ **ぬれた手で電源プラグを持たないでください**
ぬれたままの手で電源プラグを持つと、感電する恐れがあります。
必ず、かわいた手で電源プラグを持ってください。



■ **タコ足配線はしないでください**
電源は直接、家庭用電源コンセントからとるようにし、タコ足配線は避けてください。





注意

■通風口をふさがないでください
本製品の前後にある通風口をふさがないでください。ふさいだまま使うと、内部に熱がこもり、火災の原因となります。
また、風通しの悪い場所や、じゅうたんや布団の上には絶対に置かないでください。



■不安定な場所に置かないでください
ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがにつながります。また、本製品の故障の原因となります。



■内部に手を入れないでください
本製品の内部に手を入れると、はさまれてけがをしたり、温度の高い部分にさわってやけどをする恐れがあります。取り扱いに不慣れな方や、幼児には特に注意してください。



■電源コードを引っ張った状態で移動しないでください
電源コードが引っ張られると、コードを破損する恐れがあります。破損したままで使用すると、火災や感電の原因となります。
本製品を移動する場合は、電源コードや接続ケーブルを外すか、引っ張られないことを確認してください。



■電源コードのコード部分を持って抜かないでください
電源コードを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると、コードが破損し、火災や感電の原因となります。



■お手入れの際は、電源プラグを抜いてください
お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。



■長時間使用しない場合は、電源プラグを抜いてください
長時間の外出や旅行で使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
絶縁の劣化や漏電などで、火災や感電の原因となります。



取り扱い上のご注意

結露したときは

本製品に水滴がつくことを結露といいます。
結露は次のような場合に起こります。

- 本製品のある部屋を急激に暖房したとき
- クーラーなどの冷たい風を直接本製品に当てたとき
- 本製品を温度の低い場所から高い場所に移動させたとき

結露した場合は、プリント用紙の表面に露や湿気がつき、印画品質の劣化や紙づまりの原因になります。
結露したり、結露が予測される場合は、そのまま放置し結露の心配が無くなってからお使いください。

お手入れの際は、シンナーやベンジンなどの溶剤を使わないでください

殺虫剤をかけたり、シンナー、ベンジンなどで拭いたりすると、変質したり、塗装がはがれるなどの原因となります。
本製品の外装の汚れは、やわらかい布で拭いてください。汚れがひどいときは、やわらかい布を水または水でうすめた中性洗剤で湿らせ、かたくしぼってから汚れを拭き取ってください。

ゴムやビニール製品を長時間接触させないでください

ゴムやビニール、プラスチック製品などを、本製品に長時間接触させておくと、変色したり、塗装がはがれるなどの原因になります。

半年に 1 回は動作させてください

本製品を長時間お使いにならないと、機能的に支障をきたす場合があります。
半年に 1 回は動作させてください。

持ち運ぶ場合は

本製品を持ち上げたり、持ち運んだりする場合は、両手でお持ちください。

引っ越しなどで輸送する場合は

輸送する場合は、本製品が梱包されていた梱包材および梱包箱に入れてください。
これらがない場合は、輸送中の衝撃に耐えるよう、クッションを十分に効かせて梱包してください。

このプリンタでできること

ダイレクトプリント

デジタルカメラとプリンタの共通規格である「PictBridge」対応です。PictBridge 対応デジタルカメラとこのプリンタを USB ケーブルで接続すると、デジタルカメラから操作して画像をプリントすることができます。

多彩なプリント

1 枚の用紙に同じ画像を複数印刷するマルチプリント、1 枚の用紙に違う画像を複数印刷するインデックスプリント、撮影日時を印刷する日付プリント、縁有り／縁なしプリントに対応しています。

ご注意

- 接続するデジタルカメラによっては機能が制限されることがあります。

パソコンからのプリント

パソコンとこのプリンタを USB ケーブルで接続すると、パソコンに保存してある画像をプリントできます。

高品質オーバーコートプリント

保存性、耐久性に優れた高品質オーバーコートプリントです。大事な写真をいつまでも美しく保ちます。

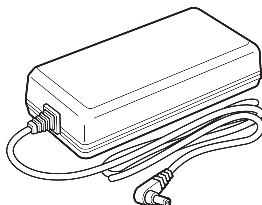
50 枚を連続プリント

付属の給紙トレイから用紙を最大 50 枚まで連続してプリントできます。1 枚のプリント時間は約 40 秒（L サイズペーパーの場合：デジタルカメラおよびパソコンからのデータ転送時間を除く）です。

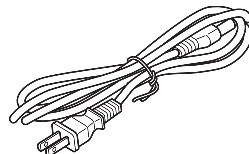
付属品の確認

梱包箱から取り出したら、次の付属品がそろっているか確認してください。
不足しているものがある場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

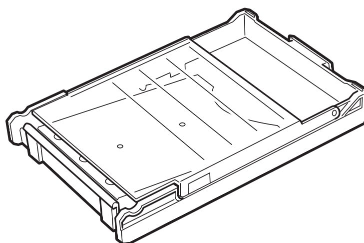
- AC アダプタ（1 個）



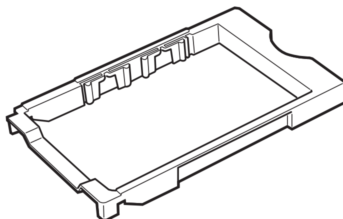
- 電源コード（1 本）



- 給紙トレイ（1 個）



- ペーパーガイド（1 個）
  ※給紙トレイの中に入っています。
  仕向け地によっては同梱されない場合があります。



- お試しキット
  ハガキサイズ用インクリボンカートリッジ（5 枚分）、
  ハガキサイズペーパー（5 枚）
- 取扱説明書（本書　1 部）
- ご愛用者登録カード（1 部）
- 保証書（1 部）
- CD-ROM（プリンタドライバ　1 枚）

各部の名称

●前面

RIBBON ランプ（☞ P.27）

PAPER ランプ（☞ P.27）

ACCESS ランプ（☞ P.27）

ペーパー排紙口

カートリッジドア（☞ P.15）

カートリッジドア指かけ部（☞ P.15）

カートリッジ挿入口

POWER ボタン（☞ P.14）

POWER ランプ（☞ P.27）

PictBridge 接続端子（☞ P.21）

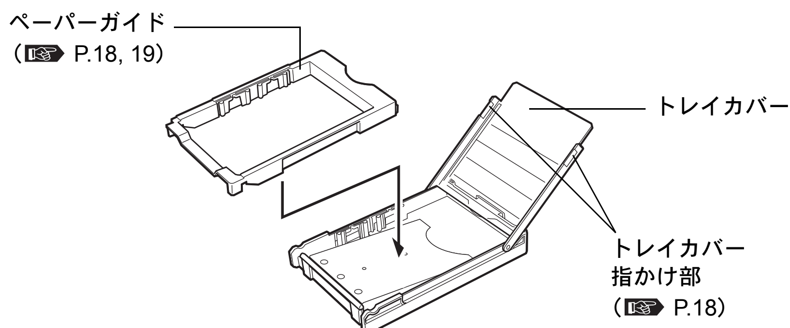
給紙トレイドア指かけ部（☞ P.20）

通風口

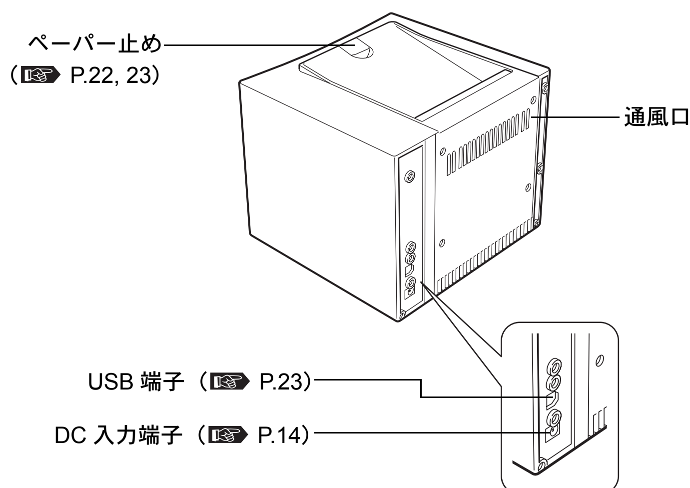
給紙トレイドア（☞ P.20）

つまみ（☞ P.16）

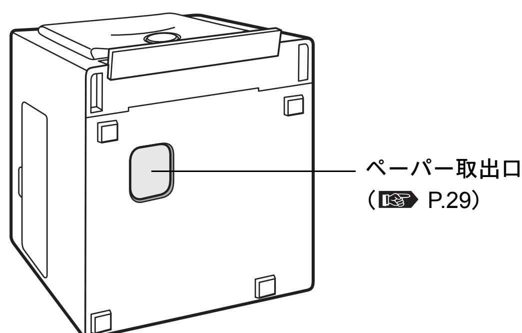
●給紙トレイ



●背面

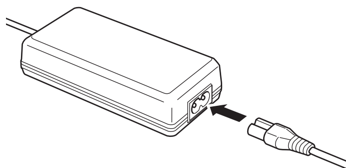


●底面

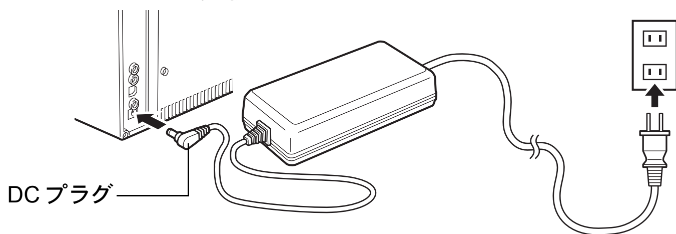


電源をつなぐ・電源を入れる・電源を切る

1 AC アダプタに電源コードを接続します。



2 電源プラグをコンセントに差し込み、DCプラグをプリンタのDC入力端子に接続します。



3 POWER ボタンを押します。

POWER ランプが点灯し、電源が入ります。

ご注意

- デジタルカメラと接続する場合はプリンタの電源を入れた後、デジタルカメラの電源を切った状態でプリンタと接続してください。P.21
- パソコンと接続する場合はパソコンと接続した後、パソコンの電源より先にプリンタの電源を入れてください。

電源を切るとき

POWER ボタンを押します。

POWER ランプが消灯し、電源が切れます。

ご注意

- 印刷中に誤ってDCプラグを抜いてしまった場合は、再度DCプラグを挿入してプリンタの電源を入れてください。そのまま放置すると故障の原因となります。

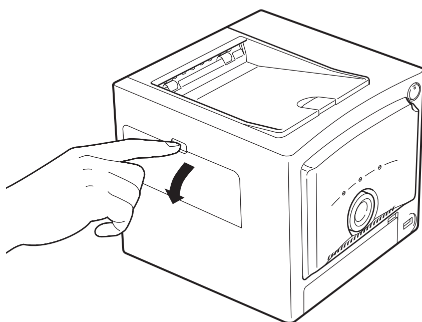
インクリボンカートリッジを入れる

プリントパックについて

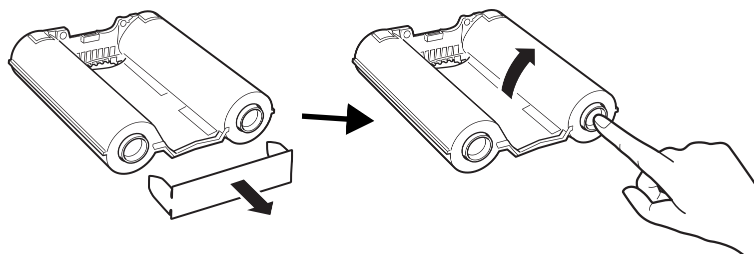
プリントするためには、同梱のお試しキット、または別売のプリントパックが必要です。

- ご使用の際は、必ず同じ箱のインクリボンカートリッジと用紙をセットでお使いください。
- 一度プリントした用紙および一度排紙された用紙は、再度使用しないでください。

1 カートリッジドア指かけ部を下に押しながら、カートリッジドアを開けます。



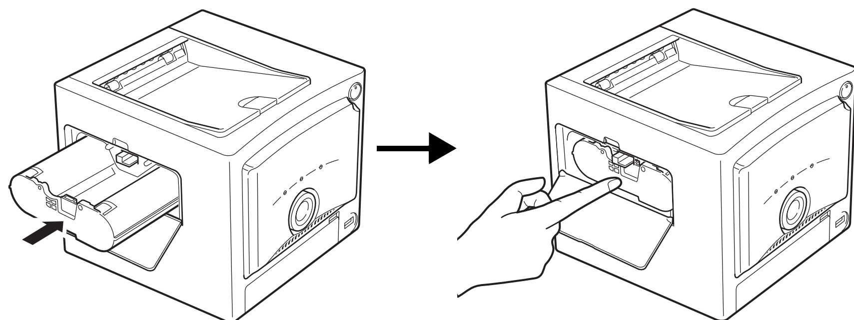
2 インクリボンカートリッジのストッパーを外し、インクリボンのたるみをとります。



押しながら、矢印の方向に回します。

- 使用途中のインクリボンカートリッジを再使用する場合も、図のようにインクリボンのたるみを取ってからセットします。

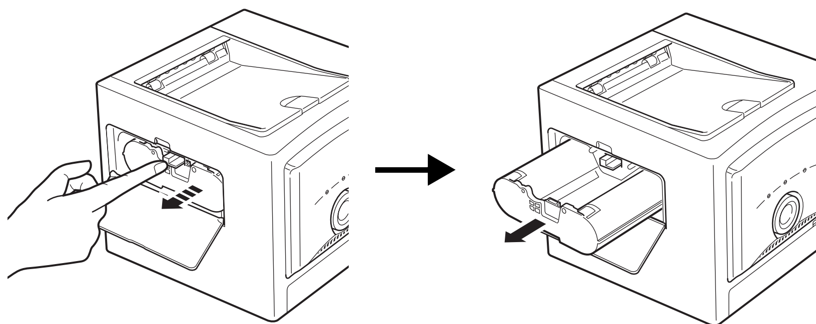
3 インクリボンカートリッジを奥まで差し込み、カートリッジドアを確実に閉めます。



- インクリボンカートリッジの中央部を押さえ、カチッと音がするまで押し込みます。
- カートリッジドアが閉まらないときは、いったんインクリボンカートリッジを取り出してから入れ直してください。

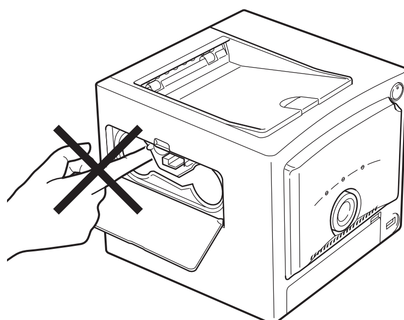
インクリボンカートリッジの取り出しかた

カートリッジドアを開けて、つまみを引き上げるとインクリボンカートリッジが手前に出ますので、インクリボンカートリッジを取り出します。

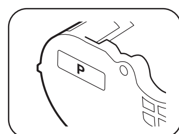


ご注意

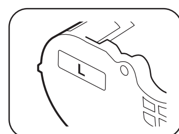
- 熱くなっていることがありますので、カートリッジドアの内部に手を入れないでください。



- プリントパックにはハガキサイズ用とLサイズ用の2種類があります。ハガキサイズペーパー使用時はハガキサイズ用インクリボンカートリッジを、Lサイズペーパー使用時は L サイズ用インクリボンカートリッジをご使用ください。

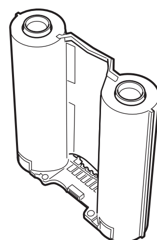


ハガキサイズ用
インクリボンカートリッジ



L サイズ用
インクリボンカートリッジ

- インクリボンカートリッジを置くときは、ほこりがつかないように立ててください。
  また、インクリボンにさわったり、ほこりの多いところに放置しないでください。
  指紋やほこりがインクリボンにつくと、きれいにプリントできないことがあります。



- インクリボンが切れてしまったときは、新しいインクリボンカートリッジに交換してください。

保存上のご注意

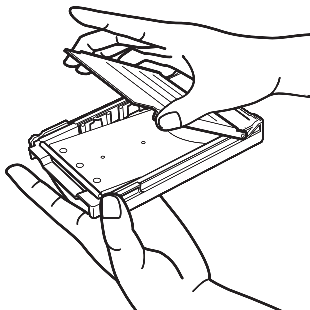
- 温度や湿度の高いところ、ほこりの多いところ、直射日光の当たるところでの保存は避けてください。

用紙を入れる

給紙トレイに用紙を入れる

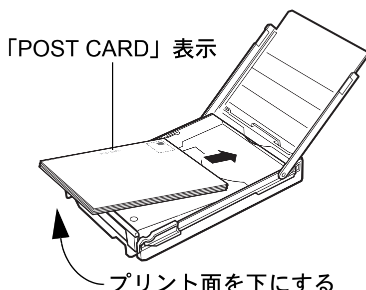
ハガキサイズペーパーでプリントする場合

1 トレイカバー指かけ部の両方を持って、同時にトレイカバーを開け、ペーパーガイドを外します。



2 用紙はプリントする面を下にして給紙トレイにセットします。

- 保護シートを取り除いてから用紙をセットしてください。
- ハガキサイズペーパーを使用する場合は「POST　CARD」表示を左側にしてセットします。
- 用紙は最大 50 枚まで入れられます。

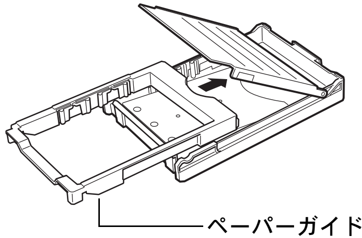


3 給紙トレイのトレイカバーを閉めます。

- トレイカバーに用紙をはさみ込まないように注意します。

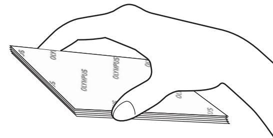
L サイズペーパーでプリントする場合

プリントに L サイズペーパーを使用する場合は、給紙トレイにペーパーガイドを取り付けてから用紙をセットします。



ご注意

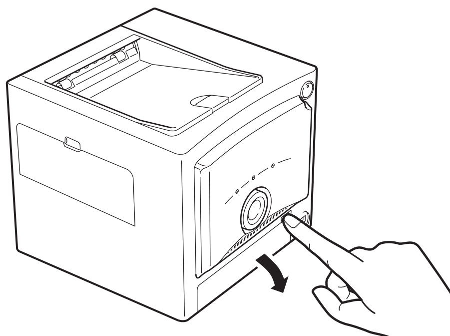
- ペーパーガイドを汚したり、傷つけたりしないでください。
- 用紙を取り扱う際は、プリント面（何も印刷されていないつやのある面）に触れないようにしてください。



- 温度や湿度の高いところ、直射日光の当たるところでの保存は避けてください。
- ほこりの多いところに用紙を放置しないでください。プリント面にほこりや指紋などが付着すると、きれいにプリントできないことがあります。
- 専用の用紙以外を使用すると故障の原因となります。
- 給紙トレイに入る用紙の枚数は最大 50 枚です。用紙を追加する場合は、この枚数を超えないようにしてください。入れすぎると紙づまりの原因になります。
- 用紙を折ったり曲げたりしないでください。紙づまりの原因になります。
- プリントする前に用紙に字を書かないでください。プリント後に油性のペンで書いてください。なお、ワープロ、タイプライターでの印字はできません。

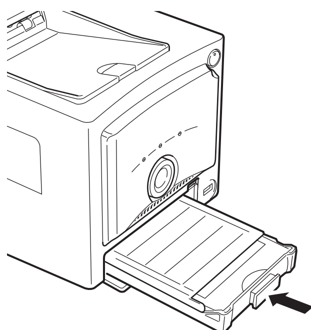
給紙トレイをプリンタ本体に取り付ける

1 給紙トレイドア指かけ部を手前に引き、給紙トレイドアを開けます。



- 給紙トレイドアを閉じる場合は、給紙トレイドア指かけ部をカチッとロックするまで押してください。

2 給紙トレイを奥まで差し込みます。



- 給紙トレイはカチッと音がするまで挿入してください。
- 取り外すときは、矢印の部分を持ち手前に引き出します。

デジタルカメラの画像をプリントする

PictBridge 対応のデジタルカメラについて

PictBridge 対応のデジタルカメラに接続して画像をプリントすることができます。
プリント操作は、デジタルカメラによって異なります。プリントする際は、デジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。
また、PictBridge 対応のデジタルカメラについては当社ホームページをご覧ください。

ご注意

- デジタルカメラで撮影した画像以外はパソコンからプリントしてください。

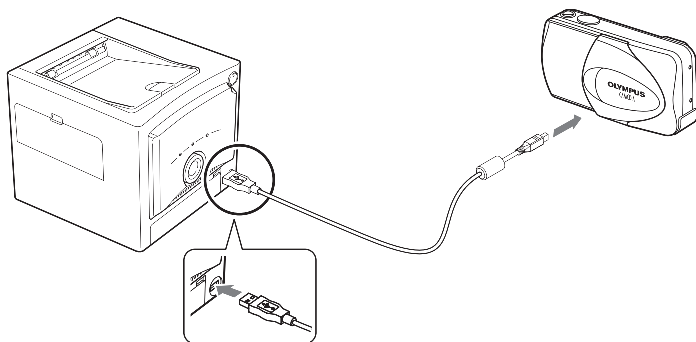
デジタルカメラとプリンタを接続する

接続には、デジタルカメラに付属の USB ケーブルを使用します。

1 あらかじめプリンタの電源を入れておきます。

「電源をつなぐ・電源を入れる・電源を切る」P.14

2 USBケーブルのプラグをデジタルカメラのUSB接続端子に差し込み、もう一方をプリンタ前面の PictBridge 接続端子に差し込みます。

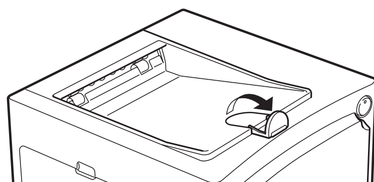


3 デジタルカメラの電源を入れ、プリントできる状態に設定します。

プリンタの ACCESS ランプが点灯し、しばらくすると消灯します。

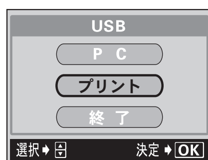
デジタルカメラの操作については、デジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。

4 プリンタ上部のペーパー止めを手前に倒します。



デジタルカメラから操作してプリントする

1 デジタルカメラを操作して、プリントします。



デジタルカメラ画面例

プリント中は、プリンタの ACCESS ランプが点滅します。プリントが終了すると、消灯します。

☞デジタルカメラの操作については、デジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。

2 プリントが終了したら、プリンタとデジタルカメラの電源を切ってから USB ケーブルを外します。

ご注意

- プリント中はカートリッジドアや給紙トレイドアを絶対に開けないでください。
- プリント中はプリンタを動かさないでください。
- プリント中はプリンタやデジタルカメラの電源を切ったり、AC アダプタを外さないでください。万一誤って電源を切ったり、AC アダプタを外したときは、再び電源を入れて操作をやり直してください。そのまま放置すると故障の原因になります。

パソコンの画像をプリントする

市販の画像処理アプリケーションソフトウェアを使用して、パソコンの画像をプリントすることができます。

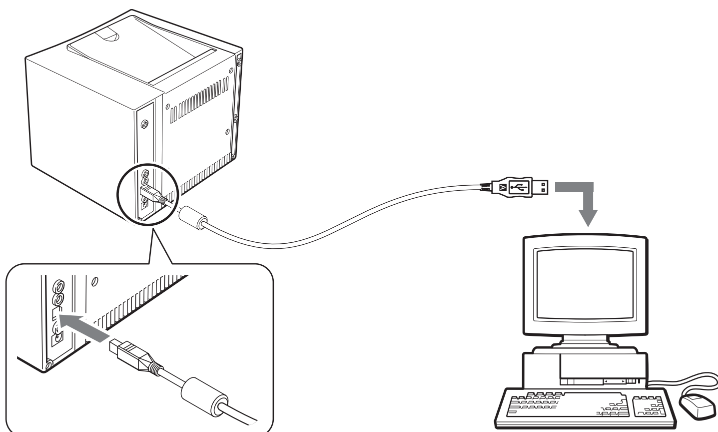
ご注意

- デジタルカメラで撮影した画像以外はパソコンからプリントしてください。

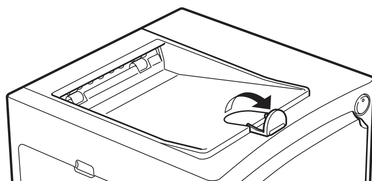
パソコンとプリンタを接続する

接続には市販の USB ケーブル（A-B タイプ）を使用します。

1 USB ケーブルのプラグをパソコンの USB ポートに差し込み、もう一方をプリンタ背面の USB 端子に差し込みます。



2 プリンタ上部のペーパー止めを手前に倒します。



3 プリンタの電源を入れます。

ご注意

- パソコンと同時にPictBridge対応デジタルカメラに接続している場合は、デジタルカメラとの接続が優先されます。デジタルカメラを取り外してください。
- このプリンタはネットワークでの対応は保証していません。また、市販のプリンタバッファでのご使用も保証範囲外です。
- このプリンタは USB ハブへの接続について保証していません。

はじめに
準備
プリントする
その他

プリンタドライバをインストールする（初回のみ）

対応 OS：Windows 98/ Me/ 2000/ XP

1 パソコンを起動してCD-ROMドライブに付属のCD-ROMを挿入します。

［新しいハードウェア検出］ダイアログが自動的に表示されます。

- 自動的に表示されない場合は、スタートメニューから［設定］-［プリンタ］-［プリンタの追加］を選択してインストールを開始します。Windows XP をご使用の場合は、スタートメニューから［コントロールパネル］-［プリンタと FAX］-［プリンタの追加］を選択してインストールを開始します。

2 画面の指示に従ってプリンタドライバをインストールします。

☞詳細については、ご使用のパソコンの取扱説明書をご覧ください。

プリントする

1 お使いのアプリケーションで、プリントしたい画像を表示、選択します。

2 ファイルメニューの［印刷］を選択すると表示される印刷画面で、使用するプリンタに「OLYMPUS P-10」を選択します。

! ご注意

- ［印刷］およびプリンタを選択する操作は、アプリケーションによって異なります。お使いのアプリケーションの説明書をご覧ください。

3 ［プロパティ］をクリックし、用紙サイズなどを確認してからプリントします。

プリンタの印刷設定について

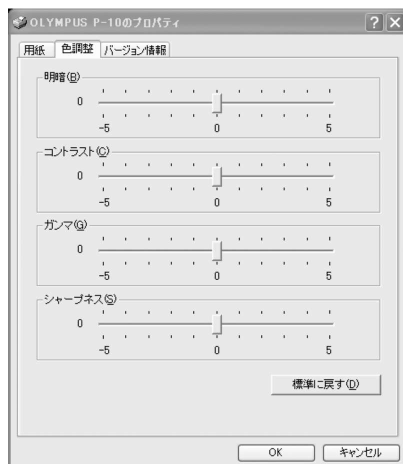
［プロパティ］画面の［用紙］タブ、［色調整］タブ画面で、用紙サイズや印刷部数、プリントする画像の色調整などの設定を行うことができます。

☞ 詳細については、CD-ROM 内の ReadMe をご覧ください。

［用紙］タブ画面例



［色調整］タブ画面例



ご注意

- プリント中はカートリッジドアや給紙トレイドアを絶対に開けないでください。
- プリント中はプリンタを動かさないでください。
- プリント中はプリンタやパソコンの電源を切ったり、AC アダプタを外さないでください。万一誤って電源を切ったり、AC アダプタを外したときは、再び電源を入れて操作をやり直してください。そのまま放置すると故障の原因になります。

用紙の補充、インクリボンカートリッジの交換

プリント中に用紙が無くなったときは

PAPER ランプがゆっくり点滅します。用紙を給紙トレイに補充してください。残りの枚数が自動的に続けてプリントされます。
通常はインクリボンも用紙と同時になくなりますので、同時にインクリボンカートリッジも新しいものと交換してください。

プリント中にインクリボンが無くなったときは

RIBBON ランプが速く点滅します。用紙が排出されてから、新しいインクリボンカートリッジと交換してください。カートリッジドアを閉めると残りの枚数が自動的に続けてプリントされます。

ランプが点灯・点滅したら

ランプ	状態	プリンタの状況	こうしましょう	参照頁
POWER ランプ	点灯	電源 ON	—	14
	消灯	電源 OFF		
ACCESS ランプ	点灯 *	デジタルカメラに接続中	デジタルカメラやパソコンを取り外さず、そのままお待ちください。	—
	ゆっくり点滅	通信中		
	非常にゆっくり点滅	印刷中	—	—
PAPER ランプ	ゆっくり点滅	用紙切れ	給紙トレイを一度抜いてから用紙を給紙トレイに入れ、プリンタ本体に取り付けてください。	18, 26
		用紙タイプとインクリボンカートリッジタイプの不一致	ハガキサイズペーパー使用時にはハガキサイズ用インクリボンカートリッジを、L サイズペーパー使用時には L サイズ用インクリボンカートリッジをご使用ください。	17
RIBBON ランプ	速く点滅	インクリボン切れ	インクリボンカートリッジを新しいものにかえてください。	15, 26
	ゆっくり点滅	インクリボンカートリッジ未セット	インクリボンカートリッジを本体に入れてください。	15
		用紙タイプとインクリボンカートリッジタイプの不一致	ハガキサイズペーパー使用時にはハガキサイズ用インクリボンカートリッジを、L サイズペーパー使用時には L サイズ用インクリボンカートリッジをご使用ください。	17
ACCESS ランプ、PAPER ランプ	同時点滅	紙づまり	紙づまりの処理をしてください。	29
ACCESS ランプ、RIBBON ランプ	同時点滅	通信エラー	デジタルカメラが PictBridge 対応か確認してください。	—
			電源を入れ直し、もう一度プリントしてください。繰り返しエラーが発生する場合は当社サービスステーションにご相談ください。	—
ACCESS ランプ、RIBBON ランプ、PAPER ランプ	同時点滅	内部の異常	当社サービスステーションにご相談ください。	—

* 接続が完了すると消灯します。

故障かな？と思ったら

修理にお出しになる前に、もう一度点検してください。それでも正常に動作しないときは、販売店または当社サービスステーションにご相談ください。

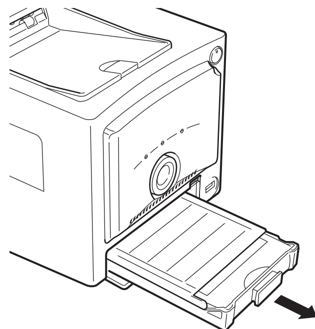
こんなときは	原因・状態	こうしましょう	参照頁
電源が入らない	AC アダプタが接続されていない	AC アダプタを確実に接続してください。	14
インクリボンカートリッジが取り出せない	動作中に電源が OFF になった	インクリボンカートリッジをカチッと音がするまで押し込み、プリンタの電源を入れ直して動作音が止まるまでお待ちください。	—
デジタルカメラからのプリントがなかなか始まらない	TIFF ファイルの展開に時間がかかる	画像の大きさにより展開時間が異なります。 展開が終了するまでお待ちください。	—
	プリント予約でトリミングを指定している	ファイルの展開が終了するまでお待ちください。	—
プリントできない	インクリボンカートリッジが入っていない	インクリボンカートリッジを入れてください。	15
	用紙または給紙トレイが入っていない	給紙トレイに用紙を補充し、給紙トレイを入れてください。	18, 20
	ペーパー排紙口に用紙がつまっている	用紙を取り出してください。	29
	パソコンにプリンタドライバが正しくインストールされていない	パソコンにプリンタドライバを正しくインストールしてください。	24
	ランプが点灯・点滅する	—	27
用紙にノイズが入る	デジタルカメラで撮影した画像以外をデジタルカメラからプリントした	デジタルカメラで撮影した画像以外はパソコンからプリントしてください。	23
プリントの間隔が長くなった	連続プリントの場合、プリンタ内部の過熱をさけるため、自動的にプリント間隔があくよう設定されている	故障ではありませんので、お待ちください。	—

用紙がつまったら

用紙がつまると、ACCESS ランプと PAPER ランプが点滅し、プリントできなくなります。
用紙がつまった場合は以下の操作を行ってください。

1 プリンタの電源を切ります。

2 給紙トレイを外し、用紙の折れ曲りのないこと、用紙が正しくセットされていることを確認します。



3 給紙トレイを外した状態で再度電源を入れ、用紙を自動排出させます。

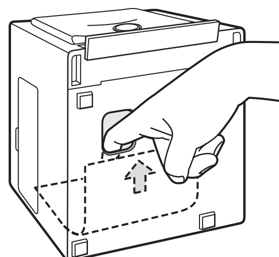
- 自動排出した場合は、手順 8 に進みます。
- 自動排出しない場合は電源を切り、手順 4 に進みます。

4 給紙トレイドア部分からプリンタの奥に用紙が見えないか確認します。

- 用紙が見える場合は、手順 5 に進みます。
- 用紙が見えない場合は、販売店または当社サービスステーションに修理を依頼してください。

5 プリンタの前面が上になるように本体を倒します。底面にあるペーパー取出口に指を差し込み、つまった用紙を給紙トレイドアの方向へ引き寄せます。

- 指で用紙を取り出しにくい場合は、ピンセットなどを使用してください。



6 用紙を手前に引き出し、給紙トレイドア部分から取り出します。

7 電源を入れます。

8 給紙トレイを再セットします。

- 正常に作動すれば、紙づまりは解消しています。続けてプリントできます。

ご注意

- 紙づまりで取り出した用紙は再使用できません。再使用しますとプリンタ故障の原因となります。

プリント中に誤ってインクリボンカートリッジを取り外した場合

1 プリンタの電源を切ります。

2 インクリボンカートリッジを奥まで差し込み、カートリッジドアを確実に閉めます。

3 電源を入れます。

プリントパック（インクリボンカートリッジ、用紙）について

■ プリントパックは、指定のものをお使いください。

- プリントパックにはハガキサイズ用とLサイズ用の2種類があります。ハガキサイズ用プリントパックにはハガキサイズペーパーとハガキサイズ用インクリボンカートリッジが、L サイズ用プリントパックにはLサイズペーパーとLサイズ用インクリボンカートリッジが含まれています。
  ※地域によってはLサイズ用プリントパックが発売されない場合があります。
- インクリボンカートリッジ、用紙は同一のプリントパックのものを使用してください。

■ 使用済みのインクリボンカートリッジは再使用できません。

■ インクリボンカートリッジは汚さないよう取扱いにご注意ください。

■ インクリボンカートリッジは分解しないでください。

■ プリント面に指紋、ゴミ、キズ、油などが付くときれいにプリントできない場合があります。

■ 同じ用紙で 2 度プリントすると、トラブルの原因となりますのでおやめください。また、一度排紙された用紙は再使用しないでください。

■ プリントパックはお使いになるときまで開封しないでください。

保存方法

■ 次の場所での保存はしないでください。

- 高温（30 ℃以上）、低温（5 ℃以下）、高湿、ほこりの多い場所に保存しないでください。
- 薬品などと一緒に保存しないでください。
- 直射日光や強い光の当たる場所に保存しないでください。

ご注意

- 40 ℃以上になる環境に長時間放置しないでください。プリンタ本体に装着した場合も、同様の注意が必要です。（車中や直射日光のあたる窓際など。）

プリント後の保存について

- プリント面どうしを重ね合わせて保存しないでください。
- プリント面にセロハンテープ、デスクマット、プラスチック消しゴムなどを長時間触れさせないでください。変色の原因になります。
- プリント面に有機溶剤を付けないでください。変色の原因となります。
- プリント面に長時間日光や強い光を当てないでください。変色の原因となります。
- プリント面に文字を書く時は、油性ペンをご使用ください。
- 直接日光のあたる場所や高温・高湿度になる場所、幼児の手の届くところなどに保管しないでください。
- プリントの変色、褪色については補償いたしかねます。

使用済みインクリボンカートリッジの処理について

- 使用済みのインクリボンカートリッジはプラスチックです。お住まいの地域のゴミ処理方法で処理してください。

不具合時の補償について

- 万一、当社製造の問題で不具合があった場合、同じ枚数の新しい製品とお取替えします。それ以外の責はご容赦ください。

主な仕様

プリンタ本体

プリント方式	昇華式熱転写型 YMC3 色重ね、オーバーコート付
解像度	310dpi
プリント用紙サイズ	L サイズペーパー　　：89(H) × 127(V) mm ハガキサイズペーパー：100(H) × 148(V) mm
プリント色表現	1677 万色以上
プリント時間	L サイズペーパー　　：約 40 秒／ 1 枚 ハガキサイズペーパー：約 44 秒／ 1 枚 （デジタルカメラおよびパソコンからのデータ転送時間を除く）
入出力端子	PictBridge 対応デジタルカメラ接続：USB A タイプコネクタ PC 接続：USB B タイプコネクタ
対応 OS	Windows 98/ Me/ 2000/ XP
使用インクリボンカートリッジ	Y+M+C の 3 色と耐光性のオーバーコート（保護層）
対応画像ファイル形式	Exif1.0 ～ 2.2（JPEG/TIFF）対応 DPOF1.1 対応
電源	DC 24V（専用 AC アダプタ）
消費電力	82W（プリント時）、5.3W（スタンバイ時）
動作温度	5 ～ 35 ℃
動作湿度	20 ～ 80%
外形寸法	196(W) × 190(D) × 166(H) mm（突起部を含まず）
質量	2.3 kg（給紙トレイを含む）

AC アダプタ

形式	スイッチングレギュレータ方式
入力	AC100V、50/60Hz
出力	DC 24V

仕様および外観は、予告なく変更することがあります。ご了承ください。

アフターサービスについて

- 保証書はお買い上げの販売店からお渡しいたしますので「販売店名・お買い上げ日」等の記入されたものをお受け取りください。もし記入もれがあった場合は、ただちにお買い上げの販売店へお申し出ください。また保証内容をよくお読みの上、大切に保管してください。
- 本製品のアフターサービスに関するお問い合わせや、万一故障の場合はお買い上げの販売店、または当社サービスステーションにご相談ください。取扱説明書にしたがったお取り扱いにより、本製品が万一故障した場合は、お買い上げ日より 1 年間「保証書」記載内容に基づいて無料修理いたします。
- 保証期間経過後の修理等については原則として有料となります。
- 本製品の補修用性能部品は､製造打ち切り後5年間を目安に保有しております。したがって本期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、期間後であっても修理可能な場合もありますので、お買い上げの販売店、または当社サービスステーションにお問い合せください。
- 本製品の保証、修理、サービスは日本国内でのみ有効です。本製品は国内専用のため、海外では修理できません。
- 本製品の故障に起因する付随的損害（プリントに要した諸費用、およびプリントにより得られる利益の損失等）については補償しかねます。
- 修理品をご送付の場合は、修理箇所を指定した書面を同封して十分な梱包でお送りください。また、控えが残るよう宅配便または書留小包のご利用をお願いします。また運賃諸掛かりはお客様においてご負担願います。

用語解説

DPOF（Digital Print Order Format）

デジタルカメラの自動プリントアウト情報を記録するフォーマット。画像を保存したカードにプリントしたい画像の指定や、枚数の指定情報を記録することで、DPOF 対応の写真店やプリンタで簡単にプリントすることができる。

PictBridge

プリンタとデジタルカメラを直接接続して画像をプリントできるようにする統一規格。PictBridge 対応であればメーカーを問わず、デジタルカメラからの簡単な操作で画像をプリントすることができる。DPOF 指定した画像の自動プリント、インデックスプリント、画像をトリミングしたプリント、など多様なプリントに対応している。

RGB

赤（R）、緑（G）、青（B）からなる光の三原色。テレビやパソコンのモニタではこの 3 原色を組み合わせて色を表現する。

YMC

シアン（C）、マゼンダ（M）、イエロー（Y）からなる色の三原色。印刷ではこの 3 原色を組み合わせて色を表現する。YMC で表現できる色の範囲は RGB で表現できる色の範囲と異なる。したがって、プリンタで画像をプリントする場合、一部の色はパソコンのモニタ上とまったく同じにプリントされずに近い色に置き換えられる。



オリンパス株式会社

〒163-0914　東京都新宿区西新宿２の３の１　新宿モノリス

●ホームページによる情報提供について

製品仕様、パソコンとの接続、OS 対応の状況、Q&A などの各種情報を当社のホームページでご提供しております。
オリンパスホームページ（http://www.olympus.co.jp/）から「お客様サポート」→「映像・情報分野」→「デジタルカメラ／プリンタ関連」へ進み、ご利用ください。

●電話等でのご相談窓口

カスタマーサポートセンター



0120-084215

携帯電話・PHSからは0426-42-7499

FAX　0426-42-7486

調査等の都合上、回答までにお時間をいただく場合がありますので、ご了承ください。

営業時間　平日　9：30 〜 21：00
土・日・祝日　10：00 〜 18：00
（年末年始、システムメンテナンス日を除く）

●修理に関するお問い合わせ、修理品ご送付先

TEL 0266-26-0330　FAX 0266-26-2011

〒394-0083　長野県岡谷市長地柴宮 3-15-1
オリンパス岡谷修理センター
営業時間 9:00 〜 17:00（土・日・祝日及び弊社休日を除く）

国内サービスステーション（修理受付窓口）

東　京	〒101-0052	千代田区神田小川町１の３の１　小川町三井ビル（オリンパスプラザ内）	Tel.03（3292）3403
札　幌	〒060-0034	札幌市中央区北４条東１の２の３　札幌フコク生命ビル	Tel.011（231）2320
仙　台	〒981-3133	仙台市泉区泉中央１の 13 の４　泉エクセルビル	Tel.022（218）8421
名古屋	〒460-0003	名古屋市中区錦２の 19 の 25　日本生命広小路ビル	Tel.052（201）9571
大　阪	〒542-0081	大阪市中央区南船場２の 12 の 26　オリンパス大阪センター	Tel.06（6252）6995
広　島	〒730-0013	広島市中区八丁堀 16 の 11　日本生命広島第２ビル	Tel.082（228）3821
福　岡	〒810-0004	福岡市中央区渡辺通３の６の 11　福岡フコク生命ビル	Tel.092（761）4466

※土・日曜、祝日および年末年始・夏期休暇は原則として休業させていただきます。オリンパスプラザ内の東京サービスステーションは土曜も営業しております。

©2004 OLYMPUS CORPORATION

1AG6P1P1769--　VT661301